

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		平和事業の推進			20年度予算コード	013	整理番号	104	枝番号					
担当部課名	区民生活部文化・交流課		コード	051201	昨年度 整理番号	121								
係名	交流推進担当		連絡先 電話番号	3784										
上位施策名		No	68		交流と平和の推進									
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		1 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業		分野	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	8
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規		<input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		<input type="checkbox"/> 行革計画事業		<input type="checkbox"/> 協働計画事業		根拠法令等				
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他				(1) 杉並区平和都市宣言 (2) (3)								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	平和のつどいの実施 平和のためのポスター絵画コンクールの実施 平和意識の啓発				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民一人ひとりが、杉並区平和都市宣言の趣旨を理解し、戦争の悲惨さや平和の尊さに対する認識を深めることにより、世界の恒久平和に寄与する。								
	活動指標名(式)	(1) 平和のつどい開催日数 (2) 後援名義等使用件数				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 平和のつどいへの参加者数 (2) 平和のためのポスター絵画コンクール応募者数								
区分		単位	18年度		19年度		20年度	目標値	目標値に対する19年度の達成率%	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
			実績		計画		計画	22年度						
指標	活動指標(1)		日	25	25	16	20	20	80.0					
	活動指標(2)		件	10	10	8	10	10	80.0					
	成果指標(1)		人	679	700	696	700	750	92.8					
	成果指標(2)		人	825	850	652	700	750	86.9					
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,195	3,358	2,610	3,824							
	(内) 投資的経費等		千円	0	0	0	0							
	(内) 委託費		千円	315	242	189	700							
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.88	0.80	0.10	0.80	0.80						
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	7,973	7,312	7,312	7,312						
		非常勤職員分		千円	0	277	0	0						
	総事業費 + +		千円	10,168	10,947	9,922	11,136							
	単位あたりコスト(-)÷		円	406,720	437,880	620,125	556,800							
	財源	受益者負担分		千円	0	0	0	0						
		国・都等からの支出金		千円	0	0	0	0						
特定財源計 +		千円	0	0	0	0								
差引: 一般財源 -		千円	10,168	10,947	9,922	11,136								
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み		内 容					規模	単位	事業費(千円)					
		連携・啓発及び抗議							1,614					
		平和のつどい(8月)					1	回	495					
		平和のためのポスター絵画コンクール					1	回	301					
		平和のつどい(3月)(委託等)					1	回	194					
		その他 ()							6					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 104 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	64.0	活動指標(2)の 19年度達成率%	80.0	19年度予算 執行率%	77.7
		平和カレンダー印刷費の残が生じた。					
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平和のつどい(8月)は、日印交流年記念として映画「マザーテレサ」の上映と写真パネルの展示、チャンドラボース及び原爆に関する展示を行った。衆議院議員選挙日程が変更となり開催期間が2日間に短縮されたが、多くの区民が来場した。20年度は杉並区平和都市宣言20年を迎えるため、予算を増額し、平和都市宣言の周知度が高まるような事業を実施する予定である。					
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	戦争被害者の高齢化が進んでいるため、戦争の惨禍を風化させずに次の世代に語り継ぐ必要がある。また平和に係る世界情勢が急速に変化している。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	平和のつどい事業の区民への周知が不足しているとの意見がある。					
	今後の予測	戦争の悲惨さに対する意識を風化させず後世に伝えていくために、区が平和事業を進めていく重要性が増大していく。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由)	恒久平和の実現のため、区民の意識を啓発する事業を実施している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容: 理由または具体的内容:区民団体との協働をはかり、区民ニーズに合った普及啓発や様々な平和事業を実施する。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:平和意識を啓発していくことに受益者負担は適さない。					
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容)	普及啓発の方法を工夫する。					
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 8月に開催した平和のつどいにおいて、区内唯一の原爆被害者団体である「杉並光友会」による写真パネルの展示を行った。					
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)	また、平和のためのポスター絵画コンクールの実施にあたり、「杉並ユネスコ協会」と協力して、平和学習の支援や表彰式を行った。					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 戦争の悲惨さを次の世代に伝えていくとともに、現在の平和に関する問題を取り上げ、幅広い世代が関心を高めることができる事業を展開する。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 世界情勢や平和に係る状況を常に把握し、事業に反映させる。	
	(1) 21年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input checked="" type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし	(2) 理由 平和都市宣言20周年のための事業分を削減する。

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		国際・国内交流の推進			20年度予算コード	3	整理番号	109	枝番号			
担当部課名	区民生活部文化・交流課		コード	051201		昨年度 整理番号	119					
係名	交流推進担当		連絡先 電話番号	3784								
上位施策名		No	68		交流と平和の推進							
事務事業の概要	事業開始年度		○ 昭和 ● 平成		元	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 4 政策番号 5 施策番号 4 事業コード 8 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等							
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 区内在住、在勤、在学		(1) 北海道名寄市 交流自治体協定 (2) 群馬県東吾妻町 友好自治体協定 (3) オーストラリアウイロビー市、韓国瑞草区 友好都市協定							
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		友好・交流都市(名寄市、東吾妻町、ウイロビー市、瑞草区)等の代表団や親善訪問団の派遣や受入れを行う。他課・他団体が友好都市等と交流事業を行う際、連絡調整を行う。		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 杉並区民等が、文化・スポーツをはじめさまざまな分野で、友好都市等の住民と交流する機会が増え、友好親善が深まる。							
	活動指標名(式)		(1) 友好・交流都市訪問者数・来訪者数 (2) 友好・交流都市との交流事業参加者数		成果指標名(式) (代)= 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 国際交流事業参加者数 (2) 国内交流事業参加者数							
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%				
	活動指標(1)	人	864	900		785	900	1,000	78.5			
	活動指標(2)	人	1,688	1,800		1,521	1,800	2,000	76.1			
	成果指標(1)	人	3,008	3,500		3,331	3,500	3,700	90.0			
	成果指標(2)	人	1,680	2,000		1,996	2,200	2,400	83.2			
総事業費・コスト把握	事業費	千円	24,523	17,746		14,960	13,723	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)				
	(内) 投資的経費等	千円										
	(内) 委託費	千円	9,780	800		1,386	6,093					
	職員数(常勤 非常勤)	人	2.28		1.68	0.90	2.50			0.90	2.20	1.00
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	20,657	15,355		22,850			20,108		
		非常勤職員分	千円	0	2,493		2,493			2,770		
	総事業費 + +	千円	45,180	35,594		40,303	36,601					
	単位あたりコスト(-)÷	円	52,292	39,549		51,341	40,668					
	財源	受益者負担分	千円	140	560		560			200		
		国・都等からの支出金	千円									
特定財源計 +		千円	140	560		560	200					
差引: 一般財源 -		千円	45,040	35,034		39,743	36,401					
受益者負担比率 ÷	%	0.3	1.6		1.4	0.5						
19年度の主な取組み	内 容		規模	単位	事業費(千円)							
	日印交流年記念フェア		1	式	9,085							
	その他 ()				5,875							

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 109 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	87.2	活動指標(2)の 19年度達成率%	84.5	19年度予算 執行率%	84.3
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している 場合、関連する新規事業がある場 合にはその概要も明記)	平成20年度は瑞草区制20周年を祝賀するため、杉並区訪問団を結成し親善訪問するための経費を計上。 平成19年度においては、瑞草区職員の派遣があったこともあり、瑞草区との連絡・調整が円滑に行われ、10年アクションプランに基づく事業(平和ポスター/絵画合同展示会、中高校生交流会)を着実に行うことができた。 また、交流協会が運営するコミュかるショップでの物産販売により、友好交流都市等のPRや、交流自治体である名寄市が新たに区役所前でアスパラガスの販売を行った。					
事業環境の 変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成元年に国内交流として群馬県東吾妻町(旧吾妻町)、北海道名寄市(旧風連町)と友好、交流自治体提携後、現在は、災害時相互援助協定を新潟県小千谷市と福島県南相馬市、まるごと保養地協定を福島県北塩原村と結び、5自治体との交流を行っている。また、文化・交流協会は、平成18年4月1日付けで、改組され、市民レベルの交流を推進する組織として、交流協会に生まれ変わった。 区役所1階に開かれたコミュかるショップ(交流協会運営)では、区役所開庁時には、交流都市の特産物を買うことができる。 国外のオーストラリアウイロビー市、韓国瑞草区との交流は、中高生の交流事業を中心に多種の交流が図られている				
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待 ・要望・苦情など)	小中学生交流や自然体験などの教育分野、物産展や特産物のあつ旋などの産業・経済分野、保養地などの観光分野での交流を進めてほしい。				
	今後の予測	ボランティア団体、NPOを中心とした交流が進むと予想される。 友好・交流都市提携以外の個別提携を結んだ自治体との交流事業が、より盛んになると思われる。 また、地方観光都市などから当区への交流アプローチが引き続き増えたと見込まれる。				
事業の あり 方 点 検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 中(理由)	理由:友好都市との提携により、定期的・継続的に他都市の住民との交流の機会を作り出している。				
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:				
	成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容)	理由または具体的内容:行政主導の交流推進から、市民レベルでの交流推進を図るためには、交流協会の機能を高めていくことにより向上が期待できる。				
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容:中高校生交流会における派遣・受入では、一部自己負担を求めて実施している。				
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:必要最低限のコストで実施しているため。					
協働等 点 検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄				
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 交流協会に補助金助成し、市民レベルの交流事業を担ってもらっているが、今後、多様なニーズに対応できる協会となるために組織力の強化が課題である。				
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)					
今後の 事業 の あり 方 (中 長 期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減				
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)	事業のあり方点検欄を踏まえて記入 国際交流に関しては、情報収集・提供に努め、区民の自主的な交流活動を促進して行く。 2012年まで、瑞草区とは10年アクション・プログラムに基づき交流を進めて行く。 他課が実施する交流事業が円滑に遂行できるよう、連絡調整を的確に行う。 交流協会が運営するコミュかるショップでの、友好都市等の物産販売に併せたPRの拡充を図る。 経済交流については関係課・関係団体と調整を図り、物産販売等区民を中心とした交流が進むよう留意する。 他課が実施する交流事業が円滑に遂行できるよう、連絡調整を的確に行う。				
2 1 年 度 方 針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法	交流都市との間で、事業内容を十分に協議して行く。				
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし				
	(2) 理由	東吾妻町、名寄市との交流20周年となるため、記念事業経費が必要となる。				

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		杉並区交流協会助成		20年度予算コード	4	整理番号	110	枝番号					
担当部課名	区民生活部文化・交流課	コード	051201		昨年度 整理番号	123							
係名	交流推進担当	連絡先 電話番号	3784										
上位施策名	No	68		交流と平和の推進									
事務事業の概要	事業開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成	年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業	分野	4	政策番号	5	施策番号	4	事業コード	8
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 一部新規	<input type="checkbox"/> 臨時・単年度	<input type="checkbox"/> 内部管理	<input type="checkbox"/> 行革計画事業	<input type="checkbox"/> 協働計画事業						
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他			根拠法令等								
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	杉並区交流協会に対し、交流事業が円滑に行えるように補助金を交付する			事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか) 区民の国内外の交流が促進され、交流活動が活発に行われることを実現するために、協会が推進役となって機能する。								
	活動指標名(式)	(1) 協会会員数 (2) 事業回数			成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) 協会会員数対前年伸び率 (2) 事業参加者								
指標	区分	単位	18年度 実績	19年度 計画	19年度 実績	20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%					
	活動指標(1)	人	809	850	951	970	1,000	95.1					
	活動指標(2)	回	111	113	111	112	115	96.5					
	成果指標(1)	%			17.6	2							
成果指標(2)	人	1,398	1,450	1,475	1,500	1,600	92.2						
総事業費・コスト把握	事業費	千円	31,006	37,616	32,030	35,136	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)						
	(内) 投資的経費等	千円											
	(内) 委託費	千円											
	職員数 (常勤 非常勤)	人	0.02	0.02	0.02	0.02							
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	181	183	183	183						
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0						
	総事業費 + +	千円	31,187	37,799	32,213	35,319							
	単位あたりコスト(-)÷	円	38,550	44,469	33,873	36,411							
	財源	受益者負担分	千円										
		国・都等からの支出金	千円										
特定財源計 +		千円	0	0	0	0							
差引: 一般財源 -		千円	31,187	37,799	32,213	35,319							
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0								
19年度の主な取組み	内 容					規模	単位	事業費(千円)					
	日印交流年記念フェア					1	式	128					
	その他 ()							31,902					

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 110 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の 19年度達成率%	111.9	活動指標(2)の 19年度達成率%	98.2	19年度予算 執行率%	85.1
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)							
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	国際文化への理解が進んできている。また、国外、国内における市民レベルでの交流を望む気運が高まってきている。					
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	異文化を理解し、人と人のふれあいも体験できる交流の機会を拡充してほしい。					
	今後の予測	区民等の交流活動がより一層活発になることが予想される。					
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きい 貢献度 大(理由)	理由: 区からの補助金により協会事業は円滑に行われており、区民の交流活動に寄与している。					
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる()	理由または具体的内容:					
	成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容: 事業内容をよりニーズの高いものに変えて行く。					
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由)	理由または具体的内容: 交流協会事業は、杉並区における国内外の交流促進が目的であり、受益者負担になじまない(ただし、事業によっては参加費等の一部負担がある。)					
(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容: 平成18年度の協会分離に伴い、専門性を高め組織体制と事業の見直しが図られ、必要最低限のコストで運営しているため。						
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 十分に実現している(^)	協働等の今後のあり方:		<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄			
	(2) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策)					
	(3) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容)	補助金の交付					

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 NPO等との協力を得ながら、協会の特色を活かした事業を展開していく。また、国際交流中心の事業編成から、国内交流自治体との市民レベルでの交流の推進役としての機能を強化する。	
21年度方針	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	事業のスクラップアンドビルド

平成20年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		子ども国内交流事業			20年度予算コード	35	整理番号	359	枝番号
担当部課名	保健福祉部児童青少年課		コード	092709		昨年度 整理番号	434		
係名	事業係		連絡先 電話番号	4402					
上位施策名		No	68		交流と平和の推進				
事務事業の概要	事業開始年度	○ 昭和 ● 平成		9 年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 分野 <input type="checkbox"/> 政策番号 <input type="checkbox"/> 施策番号 <input type="checkbox"/> 事業コード			
	事業の種類	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理				<input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業			
	対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他				根拠法令等			
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)	区内在住の 小学4年生～6年生 (吾妻30名、風連25名) 区内在住中学1年生～中学3年生 (23名)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)		(1) 杉並区都市交流事業 (2) (3)	
	活動指標名(式)	(1) 参加者数 (2)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標		(1) 応募者数 (2)	

区分	単位	18年度		19年度		20年度 計画	目標値 22年度	目標値に対する19年度の達成率%	
		実績		計画	実績				
指標	活動指標(1)	人	55	80	75	55	55	136.4	
	活動指標(2)								
	成果指標(1)	人	103	110	97	100	100	97.0	
	成果指標(2)								
総事業費・コスト把握	事業費	千円	3,025	5,844	4,812	3,532	特記事項 (指標、事業費等の 変化の理由など)		
	(内) 投資的経費等	千円	0	0	0	0			
	(内) 委託費	千円	0	0	0	0			
	職員数 (常勤 非常勤)	人	1.20 0.00	1.20 0.00	0.82 0.00	0.76 0.00			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	10,872	10,968	7,495			6,946
		非常勤職員分	千円	0	0	0			0
	総事業費 + +	千円	13,897	16,812	12,307	10,478			
	単位あたりコスト(-)÷	円	252,673	210,150	164,093	190,509			
	財源	受益者負担分	千円						
		国・都等からの支出金	千円						
		特定財源計 +	千円	0	0	0			0
差引: 一般財源 -		千円	13,897	16,812	12,307	10,478			
受益者負担比率 ÷	%	0.0	0.0	0.0	0.0				

	内 容		規模	単位	事業費(千円)
	19年度の主な取組み	杉並区・名寄市風連町子ども交流会(夏季)		2	回
杉並区・名寄市風連町子ども交流会(冬季)		1	回	1,667	
杉並区・東吾妻町子ども交流会		1	回	243	
その他 ()				0	

平成20年度 杉並区事務事業評価表

整理番号 359 枝番号

19年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)	活動指標(1)の 19年度達成率%	93.8	活動指標(2)の 19年度達成率%	19年度予算 執行率%	82.3
	保護者の協力を得て、手作り夕食を取り入れるなどの予算面でのプログラムの工夫をした。				
前年度の改革案の取り組み状況 (20年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)	参加費の増額は先方との協議の結果両交流会とも実施しなかった。20年度は隔年実施の冬季風連交流会の実施年ではないので予算は減となる。				
事業環境の変化	事業開始当初から 現在までの変化	平成12年度以降、吾妻交流会が2年越しでの相互交流となったため、とくに杉並区実施の年は魅力に欠けるためか応募者・参加者ともに少ない。また、風連の中学生交流も、14年度以降隔年実施となっている。さらに、参加者の状況を見ると、冬の風連交流会において、風連町側の中学生の参加が減少傾向にあり相互交流の観点から課題となっている。			
	事業に対する住民の意見 (事業に対する期待・要望・苦情など)	参加者のアンケートではどの交流会とも、概ね「よい経験になった」「交流事業は貴重な体験の場」と、前向きな事業評価と事業継続の期待が寄せられている。			
	今後の予測	子どもたちの休み中の予定が忙しくなっていることや家族旅行が充実していることもあり、今後も参加者募集については難しい状況が続くと予想される。			
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由)	理由:他都市の子ども同士が生活を共有する事業は、他に見られない。			
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる() 成果向上のための方策 その他(具体的内容)	理由または具体的内容:例年の事業を実施していく中で、より子どもたちの実情に合わせ、交流が進むような創意工夫がなされている。 理由または具体的内容:学生ボランティアが適切な集団援助ができるように事前の打ち合わせの中に研修的要素を入れる。			
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容)	理由または具体的内容:食材料費等の物価が上昇した場合には、参加者負担金増の検討が必要。			
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由)	理由または具体的内容:物価の上昇も予想される状況でのコストダウンは難しい。			
協働等点検	(1) 協働等は実現しているか 一部実現している(^)	協働等の今後のあり方:	<input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄		
	(2) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体(^)	協働等による成果と課題(実現していない場合は具体的理由と今後の方策) 学生ボランティアの全プログラムと参加保護者の一部プログラムへの運営協力。			
	(3) 協働等の形態 協働[事業協力](具体的内容)				

今後の事業のあり方 (中長期)	成果: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 隔年で行われている風連交流会(中学生)と吾妻交流会(杉並実施)の応募状況は今後も低迷すると思われる。公立学校の対象全児童へのチラシの配布やプログラムの工夫等の対策は講じているが、子どもの生活状況の変化等から考え応募が増えていくとは予想しがたい。実施時期や対象を含め交流事業の概要を先方自治体と協議していく必要がある。	
21年度方針	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 双方の子どもの状況も異なるので、一致点を見つけるのは難しい。	
	(1) 21年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
(2) 理由 対象者の事業離れに配慮しつつも、受益者負担を一部見直すことで既定経費の削減を図る方向を、先方自治体と協議する。		